みどりの東北

Midori no Tohoku

No.257
令和7年 2025. 8
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

新局長挨拶 トピックス …… 1
特集コーナー …… 2
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 3
地域発NEWS …… 4～7
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 8～9
地域のこの人 …… 10
イベント情報 …… 11

又一の滝（岩手県遠野市）
〔提供：岩手南部森林管理署遠野支署〕

薬師岳中腹にある直下約20m幅5mの一枚岩の滝で、古来から、滝の上に登ること、上流を横切ることは犯してならないとされ、神秘的な佇まいを持つ滝です。

新局長挨拶

東北森林管理局長
箕　輪　富　男

7月1日付で東北森林管理局に就任しました箕輪です。どうかよろしくお願いいたします。

皆様におかれましては、常日頃より東北森林管理局の業務運営にご理解とご協力を賜っておりますことに対し、この場を借りて心より御礼申し上げます。

さて、今年も暑い夏が続いていますが、一方で、近年、局地的な豪雨による災害も頻発するなど、気候変動による影響が顕著になっています。地球温暖化を防ぐためには、大気中の二酸化炭素を減らしていく必要がありますが、森林は二酸化炭素を吸収・固定し、木材として利用することで炭素を長期間にわたって貯蔵することが可能です。さらに、伐った跡地に植林を進めれば、再び二酸化炭素を吸収してくれます。つまり「伐って、使って、植えて、育てる」という循環をしっかりと確立していくことが重要になっています。

当局管内は、県土面積の７割が森林で覆われ、さらにその４割以上を「国有林」が占めています。東北森林管理局では、国有林において、災害に強い森林づくりを進めるとともに、充実してきた森林資源を活用して木材を安定的に供給し、さらには将来に向けた森林づくりに取り組んでおります。

また、管内には白神山地などの貴重な森林生態系が残されており、その自然環境を維持するとともに、希少な野生動植物の保護や遺伝的な多様性の確保にも努めています。さらに景観の優れた森林などでは、多くの皆様に利用していただくための環境整備にも取り組んでいるところです。

このような様々な取り組みについて、本誌「みどりの東北」を通じて皆様にお伝えしたいと思いますので、引き続きのご愛読と、東北森林管理局へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今月のTopics

●ブナ開花状況の調査結果

毎年度、東北森林管理局管内（青森、岩手、宮城、秋田、山形の５県）の145箇所（定点）において、ブナの開花状況（初夏）を目視により調査しています。今回の調査結果から、今秋のブナの結実の豊凶は、青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県とも大凶作と推測されます。詳しい調査結果については、東北森林管理局のＨＰをご覧ください。

詳細はこちら↑

●白神山地合同パトロール

世界自然遺産に登録されている白神山地での入山者のマナー向上を図るため、現地の関係機関と合同パトロールを12日（青森県側）と19日（秋田県側）に実施しました。青森県側は白神岳コースほか２コース、秋田県側は小岳コースほか１コースで、入山者へマナーパンフレットを配布し、ゴミのポイ捨てや樹木の無断伐採などの違反行為がないかを確認しました。なお、巡視員の高齢化を受けた後継者育成の取り組みとして、東北地方の大学生と大学院生を対象に「１日巡視員」を募集し、青森県側で２名が合同パトロールに参加しました。

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

「選ばれる森林土木（ESD）」に向けて

治山課

林野庁では、森林土木工事が地域の守り手である事業者に選ばれるよう、熱中症対策や働き方改革、円滑な施工体制の確保など、公共工事に一斉に適用される関係省庁の制度改正・運用改善を的確に反映することとしています。また、森林土木工事が行われる山間奥地における空間の狭さや急な傾斜など厳しい現場実態を踏まえ、適正な利潤確保、生産性向上、安全性向上に向けた次の取組を継続しています。

●適正な利潤確保
- 施工実態にあった歩掛へ見直し
- 新工法等の歩掛を追加
- 森林土木工事の共通仮設費率に独自の補正を追加
- 作業時間が短くなる場合の労務費補正の追加
- 見積りを活用した積算方法の導入
- 工事規模に応じた工期の目安を設定

●生産性向上
- 施工性の高い工種・工法の適用促進
- 工事提出書類の各種様式の簡素化
- ICT（情報通信技術）を活用した工事実施要領等の導入
- スマートフォン等を活用した立会確認の導入

●安全性向上
- 山間奥地で通信環境を整える場合の積算方法を追加

東北森林管理局管内で実施する治山工事でも、上記の取組を進めています。その一つに、生産性向上におけるICT技術の活用があります。受注者の希望により、起工測量、設計図書の照査、施工、出来型管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について、３次元データを活用するICT活用工事の対象工事としています。ICT測量及び建機を使用した施工や山間奥地で通信環境が悪い現場では、日本向けに提供が開始された米国SpaceXの低軌道通信衛星サービス「starlink（スターリンク）」を活用した立会確認を実施するなど、治山工事において、ICT技術の普及が少しずつ進んでいます。なお、ICT技術などの活用については、県の職員や関係者を交え、説明会や見学会を行なっています。

マシンガイダンスバックホウ※による掘削作業
（青森森林管理署：今別災害関連緊急治山工事）
※施工箇所の設計データと現地盤データとの差分をオペレータへ提供するシステムを搭載したバックホウ

民国関係者を集めて開催したICT施工現場見学会
（宮城北部森林管理署：マダラ沢治山工事）

電波不感地域における通信環境導入機器に関するデモンストレーションの実施（東北森林管理局庁舎）

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

国有林野の有効活用について

東北森林管理局では、「国有林野の管理経営に関する基本計画」に基づき、国有林の持つ公益的な機能を守りながら、地域の産業振興や住民の暮らしの向上に役立てるため、国有財産の有効活用を進めています。

国有林は、国民全体の財産として重要な役割を果たしていますが、経済や社会の発展に貢献できると判断される場合には、一部の土地を他の用途に転用するために売払いすることもあります。

特に、かつて苗木の育成や木材の保管に使われていた苗畑や貯木場など、現在は使われなくなった土地を地元の関係機関と調整のうえ、一般競争入札によって売払いを行っています。これにより、使われなくなった土地が地域のニーズに応じて有効に活用されることが期待されています。

今後、売払いを予定している国有林については、準備が整い次第、東北森林管理局のホームページで情報を公開することとしています。関心のある方は、ぜひご確認ください。

売払処分予定の国有財産（土地）

←東北森林管理局HP　公売情報

ご関心のある方は、東北森林管理局保全課（TEL：018-836-2417）へお問合せ下さい。

このところの松枯れ被害拡大は猛暑のせい？

ここ数年、猛暑の夏が続いています。暑い夏の後には、「猛暑のため松枯れ被害が拡大」というようなことがよく言われます。

松くい虫による松枯れは、病原体の線虫とそれを運ぶカミキリムシによって引き起こされます。暑い夏には、線虫やカミキリムシの活動、繁殖が活発になります。また、松枯れは、木の中で水の流れが悪くなって起こる病気なので、夏の暑さによる土壌の乾燥は発症を促進します。これらのことから、「夏が暑いとマツ枯れが広がりやすい」というのは事実と言えます。

しかし、夏の暑さはあくまで被害拡大の誘因に過ぎません。火事に例えるなら、被害拡大の「火種」となる松枯れ被害木があり、その周囲に「燃料」になり得る健全な松の木がたくさんあったので、被害が拡大したのです。実際に、猛暑続きのこの数年でも松枯れ被害量が増えなかった地域は少なからず存在します。

被害が拡大する中でも守るべき松林があるのなら、まずは感染源となる松枯れ被害木の駆除を徹底することが大切です。そして将来的な被害拡大の可能性をつぶすには、樹種転換などにより周辺の松林を計画的に減らしていくことが有効です。

松枯れ激害地では放置された前年以前の被害木（赤丸）がよく見つかります。

ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所（TEL：019-641-2150）へお問合せ下さい。

地域発NEWS

（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

ICT工事実施中！

青森

三八上北森林管理署

令和４年８月10日から８月20日までの間、青森県十和田市の十和田湖畔に位置する字樽部地区は、総雨量が300mmを超える大雨に見舞われました。この雨により、国有林である十和田湖外輪山の山腹が崩壊して大量の土砂が湖畔を周回する国道103号線を超えて流下し、十和田湖まで流れ込みました。この影響で、国道103号線は約１週間にわたり通行止めを余儀なくされました。

この山地災害を受け当署では、令和５年から災害復旧治山工事を行っており、令和７年度においては、土砂崩れにより山腹に堆積した土砂が再び流れ出ることを防ぐため、同地区押出沢において鋼製枠工等を施工しています。

復旧工事に取り組むにあたっては、二次災害を回避し安全かつ迅速に作業できるドローンを活用した３Ｄレーザースキャナによる測量を行い、その３次元設計データを基にしたICT建設機械による半自動制御を活用し、迅速で正確な施工を実施しています。

復旧工事は、令和８年度に完成する予定ですが、今後もICTを活用しながら、一日でも早く地域住民や観光客の皆様が安心できるよう、早期復旧に取り組んでいくことにしています。

ICT建設機械による施工状況

森林の健康を守るために

秋田

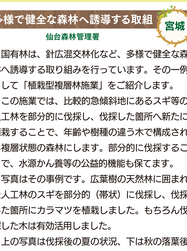
米代西部森林管理署

高速道路や国道が交通の大動脈だとすれば、林道は毛細血管のようなものです。

毛細血管が体のすみずみまで血液を運ぶように、森林に林道があることで奥地まで整備が行き届き、結果として我々に恩恵をもたらしてくれます。道路も血管も、どことも繋がっていない途切れた状態では機能を発揮できず、いずれ悪い影響が出始めます。これを最小限にとどめるためには早急な復旧が重要です。

当署では令和５年、６年に発生した豪雨により途切れた林道が多くあり、復旧完了に向けて奮闘しているところです。

引き続き、日本の森林が健康であり続け、人々には豊かな恩恵を与え続けてくれるよう、林道の維持、管理を適切に行ってまいります。



（上）被災林道（下）復旧工事の様子（同一箇所）

地域発NEWS

（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

多様で健全な森林へ誘導する取組

宮城

仙台森林管理署

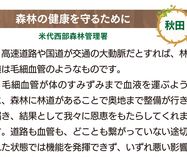
国有林は、針広混交林化など、多様で健全な森林へ誘導する取り組みを行っています。その一例として「植栽型複層林施業」をご紹介します。

この施業では、比較的急傾斜地にあるスギ等の人工林を部分的に伐採し、伐採した箇所へ新たに植栽することで、年齢や樹種の違う木で構成される複層状態の森林にします。部分的に伐採することで、水源かん養等の公益的機能も保てます。

写真はその事例です。広葉樹の天然林に囲まれた人工林のスギを部分的（帯状）に伐採し、伐採した箇所にカラマツを植栽しました。もちろん伐採した木は有効活用しました。

上の写真は伐採後の夏の状況、下は秋の落葉後に撮影したものです。

今後カラマツが大きく育っていくと、紅葉時期には、カラマツの葉は緑色から黄金色に変わるので、広葉樹やスギとともに季節による森の鮮やかな変化を楽しませてくれそうです。



秋になるとコントラストがハッキリ

国産広葉樹の供給について

青森

津軽森林管理署金木支署

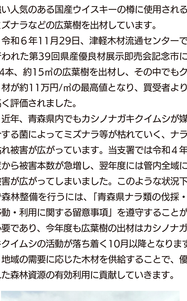
当支署では、森林の公益的機能の維持増進を図るための森林整備事業を実施しています。

その際に、少量ではありますが一般材として、建築用材及び家具の材料となるクリ・ブナのほか根強い人気のある国産ウイスキーの樽に使用されるミズナラなどの広葉樹を出材しています。

令和６年11月29日、津軽木材流通センターで行われた第39回県産優良材展示即売会記念市にて44本、約15㎥の広葉樹を出材し、その中でもクリ材が約11万円/㎥の最高値となり、買受者より高く評価されました。

近年、青森県内でもカシノナガキクイムシが媒介する菌によってミズナラ等が枯れていく、ナラ枯れ被害が広がっています。当支署では令和４年度から被害木数が急増し、翌年度には管内全域に被害が広がってしまいました。このような状況下で森林整備を行うには、「青森県ナラ類の伐採・移動・利用に関する留意事項」を遵守することが必要であり、今年度も広葉樹の出材はカシノナガキクイムシの活動が落ち着く10月以降となります。

地域の需要に応じた木材を供給するとともに、優れた森林資源の有効利用に貢献していきます。



金木支署広葉樹出材の写真

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をしたりしています。

シカを知って森林被害を防ぐ（Part2）

岩手

盛岡森林管理署

近年、岩手県の森林・渓林地などでシカの足跡や食害の痕が目立つようになり、当署管内でも、シカ生息域の拡大に伴う食害が懸念され、森林及び造林木等への被害を防ぐための効果的な防除対策が差し迫った課題です。

森林総合研究所東北支所が、岩手県内４カ所で、シカの個資源として皆伐跡地の植生がどれくらい採食されているかを評価し、シカの管理、防除対策に役立てていくための調査研究を、令和４年６月から令和７年３月まで行いました。当署は管内の国有林（盛岡市、雫石町）２地区を提供し、皆伐地内に各２カ所、隣接するスギ林内に各１カ所ずつ同様の調査区を設け、採餌状況やセンサーカメラによるシカの出現状況などを共同で調査しました。

調査の結果、皆伐跡地、谷地形など行動しやすい場所で食痕数が多く、下刈り後の柔らかい植生で採食量が多くなることなどがわかりました。シカの生態から得た知見による対策について、引き続き関係機関等と協力しながら、シカ被害の防止に努めていきます。

皆伐跡地での食害調査

クマタカの子育てに配慮した森林施業

秋田

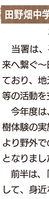
秋田森林管理署湯沢支署

当支署管内には、クマタカ（森林を好んで生活する生息数が少なく絶滅の危険性が高い生きもの）の巣が複数あることが確認されています。

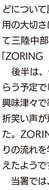
森林施業の際には、クマタカの生息、特に子育てに影響しないよう、専門家のアドバイスを頂き、巣と森林施業箇所の距離や地形などを踏まえ、実施時期を調整するなどの配慮を行っています。

また、クマタカの生息数が増え安定するためには、子育てが成功し、その子たちが次の世代の子を育てていくことが重要です。そのためには、巣を作りやすい木の育成と、クマタカの獲物（食べもの）となるキジやヤマドリなどが増えるような森林を育成していくことが必要です。

クマタカは巣をナラなどの広葉樹の大径木、スギやカラマツなどの針葉樹の大径木に作るため、人工林の列状間伐の際、伐採列の端にあるなど作業の支障とならない範囲でナラ類を保残するよう努めました。また、ヤマドリ・キジの食べものが増えるよう、下刈の際、作業の支障や造林木の成長を阻害しない範囲で、キイチゴ、クワなどの液果類の保全に努めました。



ナラ大径木のクマタカの巣（白丸）



獲物の一つヤマドリ

今後も、生きものたちとの共存を考えながら森林施業を進めていきます。

地域発NEWS

（ふれあい・管理・経務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

田野畑中学校で出前授業を行いました

岩手

三陸北部森林管理署

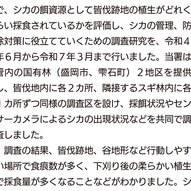
当署は、平成26年に田野畑村と遊々の森「未来へ繋ぐ～田野畑・希望の森～」の協定を締結しており、地元中学生を対象として、森林整備体験等の活動を支援する取組を行っています。

今年度は、７月１日に遊々の森で保育作業や測樹体験の実施を予定していましたが、天候不順により野外での活動を取り止め、校内での出前授業となりました。

前半は、「森林のはたらきと私たちの生活」と題して、身近な森林の分布状況や森林の持つ機能などについて説明し、続いて、林業の内容や木材利用の大切さについて学んでもらいながら、合わせて三陸中部森林管理署が考案したカードゲーム「ZORING（ゾーリン）」のルールを説明しました。

後半は、休み時間を挟みZORINGを体験してもらう予定でしたが、中には開始前にもかかわらず興味津々で準備を始める生徒もおり、体験中も時折笑い声が飛び交うなど賑やかな授業となりました。ZORINGを通して、楽しみながら森林づくりの流れを学び、森林や林業に興味を持ってもらえたようです。

当署では、今後も遊々の森での活動支援をはじめ、地域のニーズに応じた森林環境教育の推進に取り組んでいきます。



ZORINGプレイ中の生徒達の様子

山岳遭難防止啓発活動の実施について

秋田

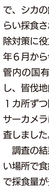
米代東部森林管理署上小阿仁支署

令和７年５月31日（土）に北秋田市にある森吉山ダム広報館駐車場において、北秋田市、北秋田警察署、北秋田市消防本部、山岳会及び猟友会などの地元関係機関が入山者に対し、遭難防止の呼びかけと熊による人身被害防止のチラシ配布の啓発活動を実施しました。

当日は早朝から20台以上の車両の入込みがあり、多くはこの時季の代表である山菜「ネマガリタケ」を目当てに入山される方々で、新緑の森吉山登山や渓流釣りといった目的で入山される方もいました。近年、熊による人身被害が相次ぐ中で入山者一人一人へ「遭難防止の心得」の配布、複数人での行動や鈴・ラジオを携行するなどの対策を取るよう呼びかけました。

遭難防止啓発活動チラシ配布

この活動は年２回、春と秋に実施されています。今後も入山者への啓発活動として各関係機関と連携し取り組んでいきます。



「遭難防止の心得」

夏、「花の百名山」の森吉山山頂近くでは「クルマユリ」「エゾオヤマリンドウ」が見頃を迎え、お花畑となります。遭難対策を万全に森の恵みと森林浴にお出掛けしてみてはいかがでしょうか。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

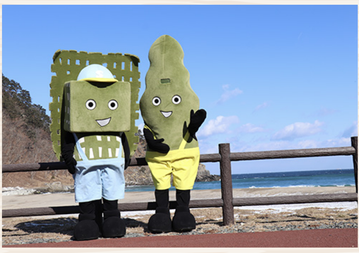
岩手県下閉伊郡普代村

三陸北部森林管理署久慈支署

人　口 2,249人（R7.6.30現在）
面　積 69.66㎢
市町村の木 えんじゅ　**市町村の花** はまゆり

岩手県の北東沿岸部に位置する村で、東は太平洋、西は北上山系に囲まれています。基幹産業は水産業ですが農業も盛んです。また「鵜鳥神楽」は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

普代村には豊富な水産資源を生かした特産品がたくさんあります。中でも「すき昆布」と「塩蔵昆布」は村を代表する特産品で、村のゆるキャラ「昆布ブラザーズ」のモチーフとなっています。すき昆布はボイルした昆布を細切りにし、紙すきのように薄い板状にして乾燥させたものです。煮物や炒め物のほかサラダに入れると食感をより楽しめます。塩蔵昆布は湯通しした昆布に塩をまぶして保存性を高めたもので煮物や昆布巻きにするのがおすすめです。柔らかく食べやすいのでどなたでも美味しくいただけます。



昆布ブラザーズのすっきーとえんぞー

山の方に目を向けると、豊富なナラ林を利用して栽培される「原木乾しいたけ」も村の特産品の一つです。風味豊かでうまみ成分のたっぷり詰まった乾しいたけはよい出汁が取れるだけでなく食べ応えもあり、どんな料理にも幅広く合わせることができます。

肉厚のどんこと使いやすくスライスした乾椎茸

鵜鳥神楽は鵜鳥神社に伝わる山伏神楽です。厄難を祓う祈祷の舞である「山の神」や観客との掛け合いが楽しい「恵比須舞」など全部で53演目あります。旧暦の４月８日に行われる鵜鳥神社の例大祭や毎年１月から３月の巡行のほか普代祭りや文化祭などの村のイベントでも観ることができます。

米をまいて豊作を願う山の神

ほかにも黒崎展望台からの景色は圧巻の一言で海岸線を一望できます。食、文化、自然の魅力あふれる普代村へぜひお越しください。

黒崎展望台からの景色

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
普代村農林商工課　Tel. 0194-35-2115

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形県新庄市

山形森林管理署最上支署

人　口	31,981人（R7.6.30現在）
面　積	222.85㎢
市の木	モミ　　市町村の花　アジサイ

新庄市は、山形県の北東部、奥羽山脈と出羽丘陵との間に挟まれた新庄盆地にあり、南東から南西にかけて最上川が流れ、支流により豊かな水田地帯が広がり、その中心部に市街地を形成しています。

新庄市エコロジーガーデン「原蚕の杜」が、旧農林省蚕糸試験場新庄支場の跡地にオープンしました。国登録有形文化財に登録されている10の建物を、宿泊施設・産地直売所・カフェレストラン・リラクゼーション・ギャラリー・オフィス等として活用しています。また国土交通省の「道の駅」としても登録されており誰でも気軽に立ち寄ることの出来る施設となっています。

新庄市エコロジーガーデン敷地内「おやさいcafé AOMUSHI」

ここでは毎年５～11月の第３日曜日に生産者や作り手との交流が楽しい「キトキトマルシェ」を開催しています。この「きときと」の意味ですが「ゆっくり」を意味する方言で、農産物や工芸品を見ながらスローライフな時間を過ごしてほしいという想いが込められています。各地から多種多様な約30店舗が出店。幅広いお客さんが集い、季節ごとの風景を楽しみながらのんびり過ごせる場となっています。

にぎわいを見せるキトキトマルシェ

新庄市の夏の風物詩といえば「新庄まつり」。ユネスコ無形文化遺産にも登録されており、神輿渡御行列、山車と囃子が織りなす絢爛豪華な山車行列は必見です。

歌舞伎の名場面を再現した大迫力の山車

今年は「新庄開府400年」「新庄まつり270年祭」を迎える記念すべき年です。最高の夏をぜひ新庄市でご体感ください。

夜の街に20台の山車が灯され幻想的な雰囲気を醸し出す宵まつり

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
新庄市農林課　Tel. 0233-29-5837

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

自然と技術が織りなす世界

青森

（一社）青森林業土木協会
東野建設工業株式会社　菅野　省吾さん

私は現在入社８年目となり、東北森林管理局が行う林道工事に携わっています。

今回担当した工事は、大雨による土砂崩れで通れなくなった林道を復旧する仕事でした。この道の下流には養魚場があり、地域の人たちや暮らしにとって、とても大切な道路です。

工事が終わって、地域の方々が安全に通行できるようになったとき、大きな達成感とやりがいを感じました。

林道工事の一番の魅力は，自然と人々の暮らしをつなぐ大切な仕事であるということです。林道は山や森の中に作られる道路で，木材を運ぶトラックや、災害時の救助に向かう車両などが通る、大事なインフラです。山や自然の美しい景色の中で作業しながら、自然のすばらしさを身近に感じられるのもこの仕事の良さです。

また新しい機械や技術を使って、作業を効率よく進めたり，安全管理の工夫をしたりする中で、自分の技術力もどんどん向上していきます。

今の時代はAIや自動化が進んでいますが、自然の中での実際の工事や現場での判断には、人の手と経験が欠かせません。だからこそ林道工事はこれからも必要とされる「やりがいのある仕事」だと思います。

完成した現場の様子

北上川～金華山沖に囲まれて～

宮城

宮城北部森林管理署石巻鮎川合同森林事務所
石巻担当区　森林官　日比野　華さん

私の勤務する石巻鮎川合同森林事務所は、JR石巻駅から歩いて20分ぐらいのところにあります。石巻担当区の管轄区域は、北上川を挟み北側の北上地区・河北地区、南側の雄勝地区・石巻地区、お隣の東松島市となっていて、女川町と牡鹿地区は、鮎川担当区として先輩の森林整備官が担当し、それに現場職員３名を加えた計５名で協力し合って楽しく働いています。

今年度から初めて森林官になり、まだまだ分からないことばかりですが、今まで行った業務としては、私有林や県・市有林などの森林や土地と接する箇所の境界の点検、大雨後の林道点検、山づくりを行う各森林整備事業の監督業務などがあります。特に監督業務は、私より経験が豊富で年齢が上の請負事業体の方々とお話するため、毎回緊張してしまいます。

森林官になって様々な方とコミュニケーションを取る必要があり、失敗してしまうことも多いですが、海も山も川もあり、それぞれの幸や産業に恵まれているこの地域だからこそ、沢山の方から沢山のお話が聞けるのでとても勉強になります。また、毎日のように現場に行くことができ、山づくりを自分の手で進めていく実感があり、とても楽しく勉強になる毎日です。

林道点検の様子

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

8/14(木)～16(土) 白八幡宮大祭

「北前船が運んだ京祭り」340年続く古式ゆかしい伝統行事

主催 白八幡宮大祭実行委員会

開催中～8/17(日) 2025大鰐温泉サマーフェスティバル

夏の思い出となる楽しい催しがいっぱいです

主催 大鰐温泉サマーフェスティバル実行委員会

8/24(日) 初級トレッキング教室in梵珠山

梵珠山登山をしながらトレッキングの装備やポイントなどを解説

主催 青森県立自然ふれあいセンター

岩手県

8/13(水)～15(金) 番屋体験博覧会「ばんばく」

サッパ船アドベンチャーズ、シーカヤック・SUP体験会等を開催

主催 体験村・たのはたネットワーク

8/30(土) 森林ボランティア活動

岩手県県民の森の森林整備に参加するボランティアを募集します。作業終了後に豚汁のふるまいがあります。

主催 岩手県県民の森

秋田県

8/11(月) 大館大文字まつり

鳳凰山に「大」の火文字が浮かぶ中、花火が打ち上がります。

主催 秋田県・大館市

8/23(土) オオハンゴンソウ防除作戦

特定外来生物の引き抜き作業！雨具持参、野外活動できる服装でご参加ください♪

主催 NPO法人冒険の鍵クーン

宮城県

開催中～8/24(日) 伊豆沼・内沼はすまつり

湖面いっぱいのハスの花を間近に見ることができます（大人1,200円）

主催 栗原市観光物産協会

8/24(日) わらじで歩こう七ヶ宿

七ヶ宿街道12kmの道のりを自然や人と触れ合いながら歩きます

主催 七ヶ宿町

山形県

8/15(金)～16(土) たかはた夏まつり「青竹ちょうちんまつり」

各戸青竹にちょうちんをつけ立て、その中を踊り子がパレード

主催 たかはた夏まつり実行委員会

8/17(日) kitokitoMarche

８月のテーマ：かき氷と冷たいものとか

主催 キトキトマルシェ運営委員会

開催中～9/27(土) 写真展『生命』

白神山地とその周辺地域に息づく生命をテーマにした写真展

主催 月山ビジターセンター

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市橋田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字富田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市橋田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽自神センター	西目屋郡暮ノ沢町大字鬼川字津刈部野10-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋敷前町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字字津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山一丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中田3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村字田瀬字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	雄勝支署	湯沢市須川二丁目6-30	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	県営センター	山本郡藤里町藤琴字大間添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通５-９-16 ☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.257 ●発行日／令和７年８月 ●発行所／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページも、ぜひご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓